

令和４年度 第１回いじめ対策総点検 評価表
（チェックシートによる点検の評価）

学番： 71 学校名： 高田商業高等学校

点検期間： 令和４年 7 月26日（火）～令和４年11月 2 日（水）

視点	点検項目		評価基準		評価
１・学校の組織力の強化	1-(1)	校長のマネジメントによるいじめ対策組織の有効機能	A	校長が次の全てを行っている １ 第一次判断に関わっている ２ いじめ対策組織会議を迅速に招集し、対応方針を示している ３ 関係児童生徒の聴き取り指示を的確に行っている ４ 保護者対応を指示している ５ 必要に応じて、ＳＣやＳＳＷの関与を判断している	A
			C	上記１～５の一部を行っている	
	1-(2)	いじめ事案に関する情報共有	A	様々な可能性を踏まえ、事案発生直後の職員朝会で全職員に情報共有している	A
			B	当該学年部職員全員で情報共有している	
			C	以下のどれかにあてはまる 直接対応する関係職員で情報共有を行い、全職員には情報共有しない 直接対応する関係職員で情報共有を行い、全職員には月例の職員会議で情報共有している	
	1-(3)	いじめ事案に関する保護者への連絡	A	特別な事情（児童虐待など）を除き、被害・加害生徒両方の保護者に事案内容と対応策を説明している	A
			C	被害生徒保護者には事案内容と対応策を説明している 特に方針は決めていない	
	1-(4) b	いじめ対策組織の会議記録の保存	A	次のすべてを保存している １ 会議記録（マニュアルを使用）又は ２ （マニュアル以外を使用） ３ いじめ認知報告書（様式１） ４ いじめ認知報告書（様式２） ５ 対応記録（聴き取りの記録、関連するメモ等）	A
			C	上記の１又は２、３、４、５のうち、欠けるものがある	
	1-(5) a		A	スクールカウンセラーがいじめ対策組織の構成員に入っている	A
			C	スクールカウンセラーがいじめ対策組織の構成員に入っていない	
	1-(5) b	いじめ対策組織の会議への専門的な知識を有する者の参加	A	スクールカウンセラーに全ての会議の内容について情報共有している	A
			B	スクールカウンセラーに必要なに応じて情報共有している	
			C	スクールカウンセラーに情報共有はしていない	
２・教職員の意識改革と指導力・対応力の向上	2-(1) 2-(2)	いじめ対応等に関する校内研修	A	校内研修の実施が年３回以上	A
			B	校内研修の実施が年１～２回	
			C	実施しない	
	2-(3)	いじめの認知の状況	A	認知すべきものをすべていじめと認知している	A
			C	いじめと認知すべきものを認知しなかった案件がある	
	教職員のいじめ防止対策推進法の理解	A	いじめ防止対策推進法（２条、23条、28条）を問う質問に対して、教職員の正答率が９割以上である	B	
		B	いじめ防止対策推進法（２条、23条、28条）を問う質問に対して、教職員の正答率が８割以上９割未満である		
		C	いじめ防止対策推進法（２条、23条、28条）を問う質問に対して、教職員の正答率が８割未満である		

視点	点検項目		評価基準		評価
3・相談しやすい体制	3-(1)	いじめに関するアンケートの回答方法の工夫	A	「無記名式」や「持ち帰って記入させる」など、児童生徒が記入しやすくしている	A
			C	1「記名式で学校で実施」のみを行っている	
	3-(2) a b	定期的な教育相談が行われ、児童生徒の悩みを把握する機会を設けている	A	年3回以上行っている	B
			B	年2回行っている	
			C	年1回行っている又は、実施していない	
	3-(2) c		A	上記の面談を学年部職員によらず、生徒が面談者を選択できるように行っている 学年部を中心とした複数の職員が面談をできるように行っている	B
			B	学級担任・副担任のみで定期的な面談を行って	
4・保護者との連携	4-(1)	校内いじめ対策についての保護者への周知	A	次のすべてを行っている 1 ホームページに掲載している 2 印刷して保護者に配付している 3 P T A総会・学年保護者会を通じ、直接説明している	A
			B	上記Aの1、2、3のうち、1つ又は2つを行っている	
			C	上記Aの1、2、3のいずれも行っていない	
	4-(2) a	いじめ認知時の保護者への情報提供	A	1～4をすべて行い、さらに5又は6を行っている 1 生徒からの聴き取った事実の報告 2 学校の対応方針についての報告 3 保護者の要望を聴く 4 生徒の見守りの要望 5 心配をかけたことへの謝罪 6 日頃の協力への謝辞	A
			B	上記Aの1～4を行っている	
			C	上記Aの1～4のうち、1つ以上行われていないものがある	
	5・（その他） 自殺予防	5-(1)	いじめの未然防止に向けた取組を実践している	A	複数の取組を実践している
B				1つの取組を実践している	
C				取組を実践していない	